

安全・景観・環境を提案する"群交協"

発行
群馬県交通安全施設業協同組合
前橋市大手町1-2-6 ☎027-223-3343

発行責任者 荻野将樹
編集発行人 今井由幸

第61号

群交協だより

URL:<http://www.k5.dion.ne.jp/~gunkouky/>
平成24年1月5日 発行

群馬県交通安全施設業協同組合

理事長 荻野将樹



明けましておめでとうございます。平素から組合活動にご理解ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。昨年、東日本大震災・大雨災害・台風災害と多くの自然災害に見舞われましたが、二〇二二年が平和で災害からの復旧復興がスピード感を持って進展する事を節に望むものであります。日本経済は円高や高い失業率さらに政権の政策不安が様々な場所で複雑な影響を及ぼしております。厳しい経済財政状況の下ではありますが、公共事業に携わる業界が収益や雇用を確保し活力ある社会の一員として邁進して行くために、維持管理の充実や交通安全対策など生活に密着した事業予算の確保とともに、現場の安全と効率化を踏まえた発注の平準化や現下の社会経済情勢を見据えた支援制度の拡充が必要であると思います。未来ある子どもたちを犯罪や交通事故、災害から守るための「子どもを守ろうプロジェクト」事業は、前橋市、館

群馬県知事 大澤正明



明けましておめでとうございます。新しい年が、群馬県交通安全施設業協同組合の皆さまにとって幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。昨年三月十一日に発生した東日本大震災は、我が国に甚大な被害をもたらしました。被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。県としても、被災地への復興支援に今後も最大限努めてまいります。本県でも、震災による直接的な被害にとどまらず、原子力発電所事故の影響などにより、観光業や農業、製造業などで深刻な打撃を受けました。直ちに補正予算を編成し、風評被害の払拭など本県経済の回復に向けたさまざまな支援や県民生活の安全・安心の確保に全力で取り組んできたところです。そうした中、三月に念願の北関東自動車道が全線開通し、七月から九月には群馬ステイションキャンペーン（群馬DC）が開催されました。群馬の元気回復への好機となり、群馬DC期間中には前年を上回る観光客が訪れ、県民の皆さまの温かいおもてなしにより、群馬の魅力を全国に発信することができました。これからの群馬の発展には、新たな活力を取り込むことも求められます。十二月には中国や香港を訪問し、経済発展の力強

林市に続き、第三回目となりますが高崎市内の小学校で実施させていただきたいと考えております。これまで取り組んで参りました道路標識・道路反射鏡等の清掃・点検・調査活動とともに社会貢献事業として取り組んで参ります。また、第二十一回となる交通安全施設研究会は専門知識の向上と技術の研鑽を図るため引き続き実施して参ります。龍年は、豊かな水の流れが龍を現すように、みんな揃って同じ方向に進む、協力し合う事が大切です。協力の力は飛沫となって天空に昇ると言う昇り龍の年になることを期待し「利の先に立つ義」を忘れることなく、職別専門工事業の組織体として、適確に対処できるよう技術・知識の研鑽向上を図り、安全・景観・環境の提案活動を推進していく所存でございます。関係各位のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

さを実感しました。今後の国際戦略として、成長著しい東アジアを中心に群馬の魅力積極的に売り込み、そのための体制整備を進めていく考えです。また東日本大震災を受け、国では首都機能の補完を検討する方向であることから、本県の立地条件の優位性を強調し、バックアップ機能の誘致などにも取り組む方針です。今年八月に天皇皇后両陛下がご視察された富岡製糸場をはじめ絹産業遺産群の世界遺産登録に向けた動きに、大きな期待が寄せられます。群馬には、古代から現代まで脈々と続く歴史や文化があります。今の群馬の礎となった古代東国文化や日本の近代化を支えた絹産業など、地域のさまざまな文化遺産を見つめ直し、発展させていくことが大切だと思います。県では、先人から受け継いできた「群馬の限らない可能性」を大きくはばかせるため、第十四次群馬県総合計画を推進しています。この総合計画に基づき、交通事故防止に向けた環境整備を進めてまいりますので、貴組合の皆さまにおかれましては、安心・安全な交通環境の創出のため、より一層のご支援をお願い申し上げます。平成二十四年一月一日

子どもを守るるるプロジェクト

第3回 全国交流会

平成二十三年十月二十八日、伊香保・福一にて「子どもを守るるるプロジェクト」第三回全国交流会が開催されました。

全国交流会には当組合員全員が出席し、来賓として群馬県議会議員 狩野浩志様、新井雅博様のご出席を賜りました。

開催県の挨拶にあたって、荻野将樹理事長は東日本大震災を始め台風など自然災害が多い年でした。そして、子供達の悲惨な交通事故や犯罪被害が多かったように思います。この、全国で行われているボランティア活動『子どもを守るるるプロジェクト』を通じて交通事故や犯罪被害を減少させて行きたいと述べました。

子どもを守るるるプロジェクトは平成十八年度、愛知県協会の呼び掛けで全国へ広がり、五年経過した今日、十三都県でプロジェクトが始動しています。

今回は不参加でしたが鹿児島県、香川県、秋田県でも活動が始まっています。

第一回全国交流会は、平成二十一年石川県で開催され六十名が参加しました。第二回は静岡県で一〇二名、第三回は群馬県で十三都県一三三名が参加しました。

全国交流会は各県協会等が警察・行政・地域等で調整を行い、小学校周辺の調査や安全施設工事等を実施し、情報及び技術の共有ならびに水平展開を行って行くための意見交換の場です。活動報告では、群馬県（実施場所・館林市立第五小学校）・東京都協会・愛知県協会・兵庫県協会が行い、各都県共にさまざまな事例発表がありました。群交協の事業として取り入れて行ける事例が数多くありました。「子どもを守るるるプロジェクト」を全国の組織体が一丸となって交通安全施設の専門工事業という立場を活かした取り組みをして行き、学校周辺・通学路の安全対策など様々な提案・提示や行政・地域・子供達と一緒に地道かつ継続的な活動を続けて行く事で、少子化時代の子供達を交通事故のみならず広く犯罪や事故から守るために、組合員の持っている技術を活用して行きます。

実施にあたり、さまざまな問題等が生じると思いますが、関係各位のご理解、ご協力を宜しくお願いします。



第20回

交通安全施設研究会

平成二十三年十月二十五日、前橋橋屋センター会館におきまして組合員ならびに係官庁皆様をお迎えして第二十回交通安全施設研究会を開催いたしました。

最初に群馬県警察本部交通部交通規制課の二戸様から「交通規制基準」について講話をいただきました。続いて群馬県県土整備部建設企画課の山崎様から「電子納品」について講演をいただきました。



第63回

中小企業団体全国大会

平成二十三年十一月十七日、名古屋国際会議場「センチュリーホール」で開催された第六十三回中小企業団体全国大会において、優良組合として表彰を受けました。

この受賞は、組合員皆さまの日頃の努力と組合に対するご支援・ご協力の賜と感謝申し上げます。

共同購買事業を始め、道路標識等清掃点検を行う社会貢献事業や未来ある子どもたちを犯罪や交通事故から守る「子どもを守るるるプロジェクト」の実施などこれからも、皆さまにご協力いただき、組合運営に努めてまいりますので、引き続きご協力を頂きますようお願いいたします。

また、推薦を戴いた群馬県中小企業団体中央会様に感謝申し上げますとともに、引き続き御指導いただきますようお願い申し上げます。



■組合員

ダイケンテクノ(株)・(株)三積商事・富士技工(株)・(株)日装・(株)サンテック・(株)信交・(株)中井産業・(株)ヒロタ・(有)高崎保安機材サン(株)・(株)友邦・共進安全(株)・群馬ライン企画(株)・小松総業(株)・三菱産業(株)・昭和サイン(株)・新日東(株)・中央ライン(株)・(株)日栄ライン工業・富友産業(株)・マーケティングウェイ(株)・(株)三山

■賛助会員

(株)吾妻商会交通用品部・アトミクス(株)アトムテクノス(株)群馬営業所・岩澤建設(株)群馬支店・岳南光機(株)・信号器材(株)群馬営業所 新道路企画(有)桐生支店・住友スリーエム(株)交通安全システム事業部・積水樹脂(株)群馬工場・燕振興工業(株) 日鉄防蝕(株)北関東営業所・野原産業(株)都市環境事業部・扶桑工業(株)群馬営業所・ヨシモトポール(株)関東支店